

「まちづくりの基本目標」※の検討案

※まちの将来像の実現に向けて、まちづくりの骨格をなす主たる行政分野ごとに、今後どのようなまちを目指すのかを表すものです。

<基本目標 1 防災, 防犯>

【案】安全に安心して住み続けられるために
◆平時から市民一人一人が地域の災害リスクを意識し、災害時には、共に助け合うとともに、地域ぐるみで犯罪の発生を未然に防止するための活動が活発に展開され、災害や犯罪から守ることができるまちを目指します。

～ 参考 ～

(分野別将来像)
【防災】
●日頃から災害に備え、互いに助け合うまち
【防犯】
●みんなが協力して、犯罪を未然に防ぐまち

第12回市民会議時点の内容です

《将来像に込めたあるべきまちの姿》
【防災・防犯】
・平時から地域でのつながりを高めるとともに、防災意識を高め、災害に強い体制を構築します。
・震災や激甚化・頻発化する風水害の防止・軽減を図るため、ソフト・ハードの両面から災害に強いまちを目指します。
・地域や関係機関との連携・協力のもと、犯罪が起こりにくい地域社会の形成を目指します。
《将来像につながるキーワード》
【防災・防犯】
自助・共助・公助の適切な組合せによる防災・防犯まちづくり、地域ぐるみによる防災・防犯体制の強化、水害に強いまちづくり

第12回市民会議時点の内容です

<基本目標 2 子育て支援, 学校教育, 子ども・若者>

【案】安心して子どもを産み育てられ、次代を担う子ども・若者が活躍できるように

- ◆親たちが地域の中でより安心して出産や子育てに取り組むことができるとともに、すべての子どもや若者それぞれが必要な力を身につけ、夢と希望を持って活躍できるまちを目指します。

～ 参考 ～

(分野別将来像)

【子育て支援】

- みんなに見守られ、安心して子どもを産み、育てられるまち

【学校教育】

- 子どもたちの個性が尊重され、安心して学び成長できるまち

【子ども・若者】

- 子ども・若者が、様々な活動や交流を通して、活躍できるまち

第12回市民会議時点
の内容です

《将来像に込めたあるべきまちの姿》

中間報告会の内容です

【子ども・子育て支援】

- ・市民にとって身近な場所で、子育てに関する相談・支援の機能を拡充し、切れ目ない支援の更なる充実を図ります。
- ・子どもや子育てに対する市民の寛容さの醸成を目的とした広報や啓発的な取組を通して、地域全体で子育てを行う風土をつくります。
- ・行政だけでなく、地域住民や民間企業、NPO 法人、医療機関等の様々な主体が連携した、子育て支援を実施することで、調布市で子どもを産み、育てたいと思えるまちづくりを推進します。
- ・特別な支援を必要とする子どもたちやその家族が、安心して過ごせるよう、相談・支援体制の充実を図ります。

【学校教育, 青少年健全育成】

- ・障害当事者との交流の拡充や特別支援教育の更なる充実を図るなど、より一層、一人一人の「個」に焦点を当てた教育環境を整えることで、互いに尊重し、認め合い、支え合うことができる環境づくりを進めます。
- ・アレルギー対策については、過去に起きた事故の教訓を生かし、アレルギーを持つ子どもたちに配慮した学校給食の提供や対策マニュアルの見直し、理解を深めるための研修プログラムの充実を図る等、盤石な体制を継続します。
- ・地域に開かれた学校づくりによって、地域と学校との関係性をより密接なものとする中で、「地域に見守られた安全な学校」を目指します。
- ・小学生や中学生から18歳以上の年代も含めた、幅広い若い世代の想いや気持ちを尊重し、その一人一人がまちの「主役」であることを実感し、活躍することができる環境をつくりま

《将来像につながるキーワード》

【子ども・子育て支援】

「困ったとき」「誰もが、いつでも（デジタル関連）」「身近に（各児童館や福祉圏域（8圏域））」「迷わず相談できる機能」「子育て包括支援」「取り残されない」「調布で子どもを産み・育てたい」「子どもを産み・育てやすい」「切れ目のない支援」「様々な主体との連携・協力」「寛容」「相談できる」「産み・育てやすい」「子どもを産み育てたいと思えるまちづくり」「いつでも相談できる支援環境の充実」「子ども・子育てに寛容な地域」「官民連携によるサービス創出」

【学校教育・青少年健全育成】

「子どもの意見や人権を尊重」「意見を言える場」「子どもの頃から行政参加」「次世代の担い手づくり」「互いのよさや違いを認め合う」「安全・安心な学校環境づくり」「子どもが活躍できる場づくり」「心の壁のない教育」「「気づき」を得られる交流」「特別支援教育の更なる充実」「事故を契機とした食物アレルギーに対する盤石な「調布モデル」の充実」「セキュリティバランスに考慮した学校づくり」「一人でもいられる場所」「「心」の安心・安全」「一人一人に合った教育を提供できる体制」「若い世代がより主体的に地域で活動できる環境整備」「心の壁のない」「地域に開かれた学校」「地域と協働」「違いは豊かさと感じられる学校」「特別支援教育の質の担保・向上」「多様性を学ぶ機会を保証」「ユニバーサルな施設・設備を整備」「若い世代の居場所づくり（交流の場づくり）」「若い世代の主体的な地域参加をうながす（取り組み・環境・場）」「困難を抱えた若者を取りこぼさず支援」「幅広い若い世代」

<基本目標3 福祉（高齢者福祉・障害者福祉・地域福祉）、健康づくり>

【案】みんなで支え合い、いつまでもいきいきと暮らせるために

- ◆だれもが住み慣れた地域の中で支え合いながら、自分らしい暮らしを続けることができるとともに、市民一人一人がそれぞれに合った心と体の健康づくりに取り組むまちを目指します。

～ 参考 ～

(分野別将来像)

【福祉（高齢者福祉・障害者福祉・地域福祉）】

- みんなで支え合う、誰一人取り残されない、共に生きるまち

【健康づくり】

- 自分に合った健康づくりを通して、心地よくすごせるまち

第12回市民会議時点
の内容です

《将来像に込めたあるべきまちの姿》

【地域福祉・障害者福祉・高齢者福祉】

- ・行政と地域が一体となり、多様なニーズ、幅広い世代に対応することができるよう、様々な福祉施策を充実させるとともに、多世代がゆるやかに交流できる居場所づくりを推進します。
- ・ヤングケアラーやダブルケアラーといった『ケアラー』のケア」に積極的に取り組むなど、多様なニーズに応じたきめ細かな相談・支援体制の構築を図ります。
- ・オンラインによる相談受付やオープンチャット等のデジタル技術も活用するなど、誰もが相談や交流がしやすい環境づくりに努めます。
- ・高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域包括ケアシステムのより一層の充実を図るとともに、認知症支援や介護予防などの取組を進めます。
- ・様々な当事者の異なるニーズを踏まえ、色々な視点からユニバーサルデザインを検討するなど、誰もが自分らしく暮らすことができる、当事者目線のまちづくりに努めます。

【健康】

- ・がん対策の推進や、誰もがスポーツに取り組みやすい環境づくり、さらには、健康施策についての積極的な情報発信を進めることにより、市民一人一人の「健康づくり」への意識の啓発・醸成を促します。
- ・地域、医療機関、企業等との密接な連携体制を築くことにより、市民一人一人にとって、それぞれが抱える健康課題とともに歩むことができる地域社会を目指します。
- ・「心の健康づくり」をはじめとする、現代の多様化する健康課題を解決するため、多様な健康施策に取り組み、市民一人一人にとって、理想の健康づくりを実現できる体制を整えます。

第12回市民会議時点
の内容です

《将来像につながるキーワード》

【地域福祉・障害者福祉・高齢者福祉】

「多様性」「支え合い」「交流」「寛容」「安心」「地域」「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」「誰も取り残されない」「困っている人が生活しやすい」「身近な」「認め合い」「助け合い」「活力や安らぎ」「共生社会の実現」「住民同士の交流や参加の場」「つながり」・「共感」「居場所」・「交流したくなる居場所」「多様なニーズに合わせた支援の仕組みづくり（ヤングケアラー、ダブルケアラー）」「当事者同士がつながる仕組みづくり（リアルとデジタル両方）」「難病者への配慮（就労支援）」「目に見えない障害への理解」

【健康】

「笑顔」「健康な人も健康と思えない人も」「スポーツ」「近隣に病院がある魅力」「地域と繋がる」「社会生活を維持するための機能」「市民が健康づくりに取り組める仕組み」「利用しやすい（場所もお金も）スポーツ施設」「受動喫煙」「心の健康（自殺対策）」「ゲートキーパー」「病とともに歩む」「地域包括ケアシステム」「子供向けイベント」「地域と行政が連携」「病気になる前後も健康づくりの情報にアクセス」「未病のうちに気軽に相談できる環境」「がん条例」「健康づくりへのアクセシビリティが高い HP」「高齢者」「外国にルーツを持つ方」「LGBTQの方にも配慮」「ウィズコロナ」「在宅医療 MCS（メディカルケアステーション）のネットワーク」「難病の人や医療的ケア児が自宅で生活」「病気の高齢者も楽しく地域で過ごせる」「メンタルケア」「地域の伴走」「摂食障害、ボディポジティブ」「若者の悩みへのアプローチ」「自殺率が低い地域 “病は市に出せ”」「一次予防（健康づくり）二次予防（健康診断）三次予防（重症化を防ぐ）」「介護状態や病気になっても地域とつながり続けられる」「フレイル予防」

<基本目標 4 生涯学習，スポーツ・レクリエーション>

【案】学びやスポーツを通じ、だれもが心豊かにいきいきと過ごせるために

- ◆市民一人一人が、気軽に楽しく学習やスポーツに取り組み、生きがいを感じて元気で充実した毎日を送ることができるまちを目指します。

～ 参考 ～

(分野別将来像)

【生涯学習】

- 多世代が生涯を通して学び合う，心豊かになれるまち

【スポーツ・レクリエーション】

- だれもがスポーツに親しみ，元気になるまち

第12回市民会議時点
の内容です

《将来像に込めたあるべきまちの姿》

【生涯学習】

- ・だれもが自由に学べる学習機会の提供や学習環境の充実により，市民が主体的に学ぶきっかけが生まれるまちを目指します。
- ・市民同士が学び合い，交流を深めながら，より良い地域社会の実現に向けて学びの成果を活かせるまちを目指します。
- ・既存施設の修繕・改修や設備機器の更新を計画的に推進し，だれもが快適かつ安全な環境のもとで学び合えるまちを目指します。

【スポーツ・レクリエーション】

- ・それぞれのライフスタイルや健康課題に応じて，だれもが気軽にスポーツに親しめる機会や環境の創出・普及拡大を目指します。
- ・市内にあるスポーツ資源の積極的活用や国際的なスポーツ大会の開催地としてのレガシーの継承により，スポーツ人口の増加を目指します。
- ・既存施設の修繕・改修や設備機器の更新を計画的に推進し，だれもが快適かつ安全にスポーツを楽しめるまちを目指します。

《将来像につながるキーワード》

【生涯学習】

だれもが参加しやすい環境，生涯を通して学べる，自由に学べる，生きがいを感じられる，一人ひとりの知識や経験を活かせる，自主性

【スポーツ・レクリエーション】

活力のある，だれもが，健康に暮らす，気軽に運動できる，多様な主体との連携，スポーツにふれやすい機会の創出，インクルーシブ

中間報告会の内容です

<基本目標5 共生社会（地域コミュニティ・人権・LGBTQ・多文化共生）、平和>

【案】互いを認め合い、自分らしく生きるとともに、平和の尊さを継承するために
(or 多様性を認め合う社会の中で、平和の尊さを継承していくために)

◆だれもが互いの生き方や価値観、多様な生活習慣や文化を認め合い、自分らしく暮らし続けられるまちを目指すとともに、平和の尊さを未来に継承していくまちを目指します。

～ 参考 ～

第12回市民会議時点
の内容です

(分野別将来像)

【共生社会の充実（地域コミュニティ・人権・LGBTQ・多文化共生）】

●多様性を認め合い、人とのふれあいを大切にし、だれもが自分らしくいられるまち

【平和】

●戦争の悲惨さを風化させず、平和の尊さを未来へ繋ぐまち

中間報告会の内容です

《将来像に込めたあるべきまちの姿》

【共生社会の充実（地域コミュニティ・LGBTQ・多文化共生）】

- ・市民が気軽に集える場所や機会、情報提供の充実等を図り、市民同士がゆるやかにつながれる地域の形成を目指します。
- ・あらゆる差別や偏見がなく、すべての市民の人権が尊重され、一人ひとりが持てる力を存分に発揮しながら、自分らしく暮らせる地域社会の形成を目指します。
- ・国籍や言語等の違いを超えてすべての市民が、お互いの個性・特性を認め合い、だれもが心豊かに暮らせる共生社会の充実を図ります。

【平和】

- ・戦争の悲惨さや平和の尊さを風化させず、平和な暮らしを未来に繋ぎます。

《将来像につながるキーワード》

【共生社会の充実（地域コミュニティ・LGBTQ・多文化共生）】

共生社会、いろんな人、多様なありかた、性別や世代を超えて、市民同士のふれ合い・つながり、ゆるいつながり、マッチング、個性・特性を認め合う、コミュニティ

【芸術・歴史文化・平和】

未来に受け継ぐ、まちに愛着を持てる、魅力を伝える、見る・知るだけではなく学び・ふれられる機会

<基本目標6 産業（創業支援・地域経済）、観光、芸術・歴史文化>

【案】にぎわいや活力、魅力にあふれる、“わが町・調布（調布のまち）”への誇りや愛着を育むために

- ◆創業・起業の応援や産業振興などを通じ、将来にわたって活発な経済活動が展開されるとともに、市民が芸術や歴史文化とふれ合うことで、調布のまちに対する愛着や誇りを持ち続けることができるまちを目指します。

～ 参考 ～

（分野別将来像）

【産業（創業支援・地域経済）】

- だれもがチャレンジでき、人財や産業が集う、活気に満ちたまち

【産業（観光）】

- 調布ならではの資源を活かし、人々を惹き付け、にぎわうまち

【芸術・歴史文化】

- 郷土の歴史や芸術・文化に愛着を持ち、次代に引き継ぐまち

第12回市民会議時点
の内容です

《将来像に込めたあるべきまちの姿》

【産業（農業・地域経済・観光）】

- ・さまざまな分野における新たな挑戦をオール調布で応援し、活発な経済活動が持続的に循環・発展していくまちを目指します。
- ・持続可能な未来志向の産業の創出を積極的に支援することで、豊かな暮らしの実現を目指します。
- ・人や組織の新たな取組により多様な価値が創出され、多くの人々の好奇心を刺激する魅力のあるまちを目指します。
- ・市内外に向けてさまざまな地域資源の魅力を効果的にPRすることで、より多くの人々に調布の素晴らしさを伝えます。

【芸術・歴史文化】

- ・地域の有形・無形の文化的資源を大切に守り・活かし、多くの市民が郷土の歴史や伝統文化への理解や愛着を深められるまちを目指します。
- ・市民同士のつながりや地域コミュニティの醸成にも結びつくよう、市民主体の芸術・文化活動が盛んなまちを目指します。
- ・幅広い世代の市民が様々な芸術・文化について学び、優れた芸術・文化にふれられる機会が充実したまちを目指します。

《将来像につながるキーワード》

【産業（農業・地域経済・観光）】

チャレンジを応援、地域資源の活用、調布ならではの魅力、経済が循環する持続可能なまち、新たな価値の共創、賑わい、市民がわくわくする魅力

【芸術・歴史文化・平和】

未来に受け継ぐ、まちに愛着を持てる、魅力を伝える、見る・知るだけでなく学び・ふれられる機会

中間報告会の内容です

<基本目標 7 市街地整備（駅周辺・住宅・景観）、交通環境・道路整備>

【案】地域の特徴を活かした快適で便利なまちをつくるために

- ◆各地域の特徴を活かしながら、にぎわいや活力のある市街地と快適な暮らしを送れる居住環境が形成されるとともに、だれもが安全で円滑に移動できる道路・交通環境が整ったまちを目指します。

～ 参考 ～

(分野別将来像)

【市街地整備（駅周辺・住宅・景観）】

- 地域ごとの特徴を活かした、利便性が高く快適に住み続けられるまち

【交通環境・道路整備】

- だれもが安全で円滑に移動できる、交通環境が整ったまち

第12回市民会議時点
の内容です

《将来像に込めたあるべきまちの姿》

【市街地整備（駅周辺・住宅・景観）】

- ・各地域の特色や魅力を最大限に引き出し、市内外からより多くの人たちが集い、憩い、活動できるにぎわいに満ちたまちを目指します。
- ・さまざまな世代や世帯のライフスタイルとニーズに応じた住まい方に対応できる、良質な住宅整備環境が整ったまちを目指します。
- ・調布らしい特徴的な街並みを醸し出す優れた景観資源を大切に守り・育て・つくることで、魅力的な景観が形成されたまちを目指します。

【交通環境・道路整備】

- ・子ども連れの方や高齢者、障害のある方など、すべての人が安心して利用できる交通環境や、環境にもやさしい道路の形成を目指します。
- ・街路樹による緑化や無電柱化、舗装の色調等を適切に誘導することで、だれもが市内をゆったりと歩いて楽しめる街並みの形成を目指します。
- ・調布市ミニバスや民間バス、自転車等がさらに活用され、より魅力的で身近な足となるように、分かりやすく利用しやすい公共交通網の実現を目指します。

《将来像につながるキーワード》

【市街地整備（駅周辺・住宅・景観）】

調布らしさ・個性のあるまち（緑があふれる、調布駅前のイベント開催、緑と都市機能が融合しているところ）、地域の特徴・魅力、生活利便性、賑わい、ゆとり（快適さ、景観的な要素など）、うるおい、親しみ、安心、良好な街並み、電柱の地中化、多様なライフスタイル自然との共生、街路樹、暮らしがメイン・暮らす日常（のんびりできるまち）、桃源郷的な要素、ゼロエミッション、コンパクトシティ、利便性、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）、ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）

【交通環境・道路整備】

人と環境にやさしい、安全・安心、便利、回遊性、歩行者が歩きやすい、歩きながら楽しめる、京王線以外の公共交通の利便性、エンジョイ、やさしく楽しい、100年構想、トラム（路面電車）、ゆったり、ゼロエミッション、ウォーカーブル、自転車、道路の保全

中間報告会の内容です

<基本目標 8 緑・農地・水辺・公園，環境保全>

【案】豊かな自然と人が共存する，持続可能なまちをつくるために

- ◆大切な自然をみんなで守り，活かすとともに，将来にわたって持続可能な脱炭素・資源循環型社会が形成されたまちを目指します。

～ 参考 ～

(分野別将来像)

【環境保全（脱炭素・ごみ処理・公害防止）】

- みんなが考え行動し，脱炭素・循環型社会を実現するまち

【緑・農地・水辺・公園】

- 豊かな自然と人が調和し，水や緑を活かす，やすらぎのあるまち

第12回市民会議時点
の内容です

《将来像に込めたあるべきまちの姿》

【環境保全（脱炭素・ごみ処理・公害防止）】

- ・市全体でクリーンなエネルギーや省エネの普及拡大に努めるとともに，最新の優れたデジタル技術を最大限に活用し，持続可能な脱炭素社会の構築を目指します。
- ・市民・事業者による5Rの取組を推進するとともに，ごみの安定処理と適正処理に努め，資源循環型社会の構築を目指します。
- ・「自らのまちは自らがきれいに」を基本原則とし，地域の美化活動を面的に広げることで，快適で美しく清潔なまちを目指します。

【緑・農地・水辺・公園】

- ・次世代に誇りをもって継承できるよう，多様な主体が一体となって，地域ぐるみで水と緑の創出や保全，育成に取り組むまちを目指します。
- ・多くの市民が気軽に集い，憩い，心を通わせられる場所として，水辺環境や農地，公園の積極的な活用に取り組むまちを目指します。
- ・市民や地域活動団体を含めた民間活力を活用しながら，公園の新たな魅力づくりや効率的な維持管理・運営に取り組むまちを目指します。

《将来像につながるキーワード》

【環境保全（脱炭素・ごみ処理・公害防止）】

脱炭素社会，ゼロカーボンシティ宣言，先進都市，産学官連携，ごみの排出量の抑制，まちの美化，クリーン，環境にやさしいまちづくり，循環，持続可能性（サステイナブル），次世代につなぐ，暮らし，地球温暖化対策（二酸化炭素・メタンガス），デジタルで作り出すゼロカーボン先進都市調布，グリーンインフラ，河川の氾濫防止（市民の安心・安全），ソーラー発電

【緑・農地・水辺・公園】

緑（グリーン）が多い，自然が豊富，水辺（ブルー）が多い，住民自らが緑を守る・育てる，市民参加（ボランティア，若者の参加），安心感を得られるような緑・水，身近で親しみやすい，ぬくもり，公園，緑を通じた人とのつながり，田園都市，緑と青に溢れた調布，

中間報告会の内容です